

報告事項ク

令和2年度江原道教育庁との生徒交流について

令和2年度江原道教育庁との生徒交流について、別紙のとおり報告します。

令和2年11月18日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

## 令和2年度江原道教育庁との生徒交流について

令和2年11月18日  
高等学校課  
教育総務課

江原道教育庁との児童生徒交流について、新型コロナウイルス感染症の影響により訪日・訪韓による交流が実施できないため、令和2年度は以下のとおりオンラインでの交流を実施した。

- 1 日時** 令和2年11月16日（月）16時から17時まで
- 2 場所** 鳥取県立境高等学校 図書館（江原道はそれぞれの高校から参加）
- 3 参加者** 計41名  
鳥取県側 20名（境高等学校で韓国語を選択している生徒）  
江原道側 21名（三一高2名、原州女子高8名、江陵第一高11名）
- 4 方法** Zoomによるオンライン交流  
境高校の生徒2名、江原道の生徒2名の4名のグループを計10グループ作り、それぞれの地域等の紹介や質疑を行った。  
基本的には、境高校の生徒は韓国語で、江原道の生徒は日本語で話した。
- 5 内容**  
16:00～16:05 教育監及び教育長のメッセージ動画を流した。  
16:05～16:40 自己紹介、学校紹介、地域紹介。  
・グループごとに準備したパワーポイント等を活用し、お互いに紹介を行った。  
16:40～17:00 質疑応答  
・予め質問を交換しておき、その中から質問事項を選択して質疑応答を行った。

### 6 参加生徒の感想・交流の様子

境高校の生徒たちは始まる前は緊張した面持ちだったが、小グループに分かれて対話を始めると、自分の韓国語が江原道の生徒に通じる喜びから表情も和み、積極的に韓国語を使いながら交流を深めていくことができた。

#### 【生徒の感想から】

- ・最初は不安だったが、表情の変化やジェスチャーも交えながら互いに通じ合うことができ、とてもいい経験ができた。
- ・江原道の生徒の日本語のレベルが素晴らしいと感じ、自分ももっと韓国語を勉強しようと思った。
- ・海外の高校生と交流できたことがとても嬉しかった。高校生同士ということでの共通の話題も多くあり、話も分かりやすく楽しく交流を行うことができた。
- ・相手の韓国語を完全に聞き取れないこともあったが、相手の気持ちを理解しようとする気持ちが、言葉の壁を越えたと思える瞬間を感じる事ができた。

開会



小グループでの交流（境高生徒）



小グループでの交流（PC画面）

